平成30年度(第1-2四半期)

事業の報告書

(平成30年4月1日▶平成30年9月30日)



【表紙写真について】 平成30年に竣工した撒積船"NSU XANADU" (載貨重量250,362トン)





代表取締役社長 谷水一雄

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

事業環境に関して

当中間期(第2四半期累計期間)における世界経済は、米中貿易摩擦の影響などによる景気の下振れリスクが懸念されながらも、米国・欧州・中国など各国で緩やかな景気拡大基調が続きました。外航海運市況は、タンカー市況が低迷した一方でドライバルク市況は長期的な回復傾向を維持し、内航海運市況は各種荷動きに支えられ総じて堅調に推移しました。燃料油価格につきましては、平均消費価格がトン当たり約429ドル(内外地平均C重油)となり、前年同期比では約95ドル上昇しました。また、対米ドル円相場は期中平均で109円67銭と、前年同期比では1円33銭の円高となりました。

当中間期の業績・配当に関して

このような環境下、着実な収益の積み上げにより、 当中間期の連結業績は期初の予想を上回り、売上高 760億81百万円、営業利益47億61百万円、経常利 益44億64百万円、親会社株主に帰属する四半期純 利益43億92百万円となり、前年同期比で増収増益 となりました。

当社は、株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、連結業績に対する配当性向はおおむね30%としています。当期の配当につきましては、中間・期末配当ともに「未定」としておりましたが、直近の業績推移と経営環境を総合的に勘案し、平成20年度以来となる中間配当の実施を決定、1株当たり50円とさせていただくことといたしました。

通期の見通しに関して

平成31年3月期の連結業績は、売上高1,520億円、営業利益93億円、経常利益81億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円を予想しております。また、期末配当は1株当たり65円を見込んでいます。なお第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を110円、燃料油価格はトン当たり500ドルとしております。

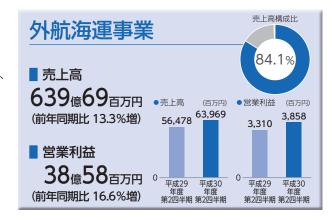
中期経営計画に関して

平成30年度は現行中期経営計画『NSU2021』の2年目となります。重点戦略として掲げた「安定収益の拡充」「輸送品質の向上」「環境保全への積極的な取り組み」に対応して、国内外の製鉄会社や資源メジャー・エネルギー関連企業との輸送契約締結や、省エネ性能に優れた新造船への積極的な入れ替えなどを着実に進めています。

●外航海運事業

ケープ型撒積船市況は、主要5航路平均用船料率が4月上旬に日額7千ドル台と低迷しましたが、中国の旺盛な鉄鉱石需要により豪州やブラジルからの出荷が堅調に推移し、8月には2万6千ドルを超える水準まで回復しました。主要荷主である新日鐵住金株式会社をはじめ国内外の顧客向けに輸送契約を獲得するなど、営業活動を積極的に継続した結果、当初の計画を達成することができました。

パナマックス型撒積船市況は、主要4航路平均用船料率が日額1万ドル強から始まり、中国向け石炭・南米積み穀物輸送の需要増減を背景に騰落はありましたが、9月末にかけて1万3千ドル台まで回復しました。国内電力・一般

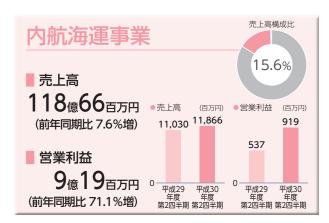


産業・海外顧客向けの貨物を獲得し支配船隊の効率配船に注力した結果、当初の計画を達成することができました。

ハンディ型撒積船は、往航主力貨物である米国向け鋼材において関税引き上げによる輸送数量減少の影響を受けましたが、中米その他方面向け集荷に努め、一定の収益を確保しました。復航主力貨物においても、中南米西岸積み非鉄鉱石や北米積み穀物などの既存貨物を活用した効率配船により収益を確保し、当初の計画を達成することができました。

近海水域における小型船は、主力貨物である日本積み中国向け鋼材輸出は自動車産業向けで堅調に推移したものの、その他産業向け輸送量が減少しました。一方で日本向け復航貨物の輸送量は前年同期比増加となったことから、全体では当初の計画を達成することができました。

VLCC (大型原油運搬船)、VLGC (大型LPG運搬船) は、おおむね定期貸船契約により安定収益を確保していますが、一部市況連動契約において市況低迷の影響を受け、当初の計画を達成することができませんでした。



●内航海運事業

ドライ貨物につきましては、台風等の影響を受けましたが、鉄鋼関連貨物、とりわけ副原料輸送が堅調に推移しました。また鋼材需要も堅調に推移し、当初の計画を達成することができました。

タンカーにつきましては、LNG輸送の転送需要が減少し、LPG輸送も民生用は夏場の需要減退期を迎え、工業用は内需低迷の影響を受けましたが、化学原料用は好調な国内需要を受けて輸送量は増加し、当初の計画を達成することができました。

連結財務諸表

四半期連結損益計算書(要旨)(第2四半期連結累計期間)(単位: 百万円)

Point	科目		前第2四半期 対29年4月1日から 対29年9月30日まで	当第2四半期 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
	売 上 高		67,720	76,081
	売 上 原 価		61,048	68,504
	売 上 総 利 益		6,672	7,578
Point	一般管理費		2,840	2,816
2	営業利益		3,832	4,761
	営業外収益		242	607
	営業 外費 用		956	904
Point	経常利益		3,118	4,464
(3)-	特 別 利 益		745	995
\prod	特別損失		293	495
	税金等調整前四半期純利益		3,570	4,963
	法人税等		△89	572
	四半期純利益		3,659	4,392
	非支配株主に帰属する四半期純損失(△))	△3	△0
	親会社株主に帰属する四半期純利益		3,661	4,392
	Point 1 売上高	Point 2 営業利益	Point 3	特別利益
	+8,362百万円	+930百万円	+249百万F	9
	新鋭船投入や外航市況好転、内航部 門での収益確保により、売上高が増加しました。	燃料油価格が上昇するも、安全運航と 効率的な配船に努めた結果、営業利益 は増加しました。		995百万円を計上しました。





Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表(要旨) (単位: 百万円)

	科目	前期末 平成30年3月31日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在
	資産の部		
Point	流動資産	54,688	57,401
4	固定資産	173,541	167,846
	資産合計	228,229	225,247
	負債の部		
	流動負債	41,623	41,748
	固定負債	105,915	96,697
	負債合計	147,538	138,445
	純資産の部		
	株主資本	82,697	85,084
	その他の包括利益累計額	△2,020	1,703
Point	非支配株主持分	14	14
5	純資産合計	80,691	86,802
	負債純資産合計	228,229	225,247
	Point 4 固定資産	Point 5	純資産
	△5,695百万円	+6,111百万	河
	建設仮勘定は増加した一方、 減価償却等により船舶が減	金の支払いの	益の計上と配当 D差引による利
	少したことが主要因です。	益剰余金の増す。	増加が主要因で

親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位: 百万円)

	科目	前第2四半期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	
Point 6	営業活動によるキャッシュ・フロー	8,920	9,844
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,555	△567
Point 7	財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,926	△12,487
	現金及び現金同等物に 係 る 換 算 差 額	△28	50
	現金及び現金同等物の 増 減 額	△1,589	△3,160
	現金及び現金同等物の期 首 残 高	26,485	27,276
	現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	24,896	24,117
	Point 6 営業活動による キャッシュ・フロー	Point 7	財務活動による キャッシュ・フロー
	+9,844百万円(収入増)		万円(支出増)
	四半期純利益及び減価償却 費が主要因です。	借入金の返済払いが主要と	育と配当金の支 引です。

総資産・純資産・自己資本比率



NSU KEYSTONE「ベストクオリティーシップ2017」を受賞

当社の撒積船NSU KEYSTONEが、日本水先人会連合会が選定した「ベストクオリティーシップ 2017」を受賞しました。

6月22日(金)、同賞の表彰式が行われ、当社安全管理グループ・海務チームリーダーが、本船船長に代わり表彰状と盾を受領しました。

同賞は、船舶の安全運航と港湾・海洋環境の保護に対する意識を高めるため、水先人から見た優秀船舶に対する表彰制度として、2003年に創設されたものです。2017年度は、1万4千隻以上の候補の中から7隻が選ばれ、選定に際しては、安全対策、正確な機器操作、航海設備や乗下船設備の状態、円滑な船内コミュニケーションと指揮命令系統、水先人への協力体制等が総合的に評価されました。

本船の受賞を励みに、今後も当社グループー丸となって安全運航 に努めるとともに、運航技術のさらなる向上のため、日々研さんを 積んでまいります。

【NSU KEYSTONE概要】(2018年7月10日現在)

船長: Capt. Le Hong Chien

船籍 : 日本 船員 : 22人

載貨重量:207,684トン 総トン数:107,217トン







被災地への義援金拠出 平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震

7月5日から西日本を中心に発生した記録的豪雨は、浸水害や土砂災害により死傷者・行方不明者が多数にのぼる甚大な被害をもたらしました。また、9月6日に北海道胆振地方中東部を震源として発生した地震では、最大震度7を観測し、大規模な土砂崩れで多くの方が犠牲となり、不慣れな避難所での生活を余儀なくされている方がいらっしゃいます。

当社グループでは、両災害に対する支援の一助として、日本赤十字社を通じ義援金としてそれぞれ300万円 を拠出、また、当社グループ役職員有志から寄せられた募金も送金いたしました。

亡くなられた方とそのご遺族に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞 い申し上げ、1日も早く元の生活に戻られますようお祈り申し上げます。 設立年月日

昭和25年4月1日

主要な事業内容

外航貨物海上運送事業および これに関連または付帯する事業

資本の額上場取引所

103億円東京(市場第一部)

本 :

〒100-8108

ト海、ベトナム

東京都千代田区大手町一丁目5番1号 [10] (03) 6895-6400 (番号案内席)

駐在員事務所海外法人 供業員数

英国、米国、香港、シンガポール、フィリピン 陸上184名、海上43名 計227名 (出向者を含みます)

役 員

代表取締役社長 谷水一雄 小 畠 徹 社長執行役員 取 締 役 専務執行役員 左光真啓 取締役(社外) 青木 泰 取 締 役常務執行役員 矢 口 取締役(社外) 木村 眞人 取 締 役常務執行役員 取 締 役(計外・独立) 小山田 充宏 木下雅之 取 締 役常務執行役員 取 締 役(社外・独立) 石川寛二 大 西

常勤 監 査 役 峯 村 保 広 監 査 役 (社 外) 千 原 圭 三 監 $\frac{\Delta}{(}$ 社 外 $\frac{\Delta}{(}$ 社)) 三 谷 康 人

常務執行役員中田義文 執行役員藤田 透執行役員福田和志 執行役員阿諏訪直樹執行役員宮井成彦 執行役員北里真一執行役員吉川 誠

主要なグループ会社

NSユナイテッド内航海運株式会社 NSユナイテッドタンカー株式会社 NSユナイテッドマリンサービス株式会社

NSユナイテッドビジネス株式会社 NSユナイテッドシステム株式会社 内 航 海 運 業 中 航 海 運 業 安全監督・新造船建造監督業 船 員 派 遣 事 選 経 理 業 務 受 託 情報システムの開発・保守業

株式の状況

発行済み株式の総数 23.970.679株

 株
 主
 数 6,780名(単元未満株主も含みます)

 大
 株
 主

株 主 名	株数(千株)	出資比率(%)
新日鐵住金株式会社	7,861	33.36
日本郵船株式会社	4,324	18.35
株式会社みずほ銀行	798	3.39
東京海上日動火災保険株式会社	606	2.58
三菱重工業株式会社	540	2.29
新健海運股份有限公司	504	2.14
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	489	2.08
三井住友海上火災保険株式会社	383	1.63
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	339	1.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	311	1.32
6.1		

- (注) 当社は自己株式403千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- (注) 出資比率は自己株式(403千株)を控除して計算しております。

平成30年度第2四半期累計期間当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総載貨重量(トン)
外航	3隻	496,087
内航	1隻	2,370

平成30年度(第3-4四半期)当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総載貨重量(トン)
外航	1隻	36,600
内航	2隻	22,700



平成27年度末 平成28年度末 平成29年度末 平成30年度9月末

株主メモ

日 3月31日 株主名簿管理人東京都中央区八重洲一丁月2番1号 みずほ信託銀行株式会社

期末配当金支払株主確定日 3月31日

(中間配当金支払株主確定日 9月30日) 同事務取扱場所東京都中央区八重洲一丁月2番1号 みずほ信託銀行株式会社

本店証券代行部

定時株主総会開催日 6月下旬 同総会権利行使株主確定日 3月31日

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合	
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部	
電話お問い合わせ先		○○ フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00~17:00)	
各種手続お取扱店	お取引の証券会社に なります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネット ブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承 ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
ご 注 意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話お問い 合わせ先・各種手続お取扱 店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。	

■ 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。

式 数 100株 (平成29年9月27日より取引所における売買単位が変更となって おります)

告 の 方 法 電子公告により行う。

公告掲載URL http://www.nsuship.co.jp/ (ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由 が生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載され ます)

ド 9110



環境にやさしい植物油インキを 使用して印刷しています。



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。



森林管理協議会(Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含 む、FSC認証紙を使用しています。



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しており ます。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報 をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】

http://www.nsuship.co.jp/

NS United REPORT

本レポートは、当社グループの企業活動と社会的責 任に対する考え方や、環境保全と安全運航への取り 組み、中期的ビジョンについて、内外全てのステー クホルダーの皆様に広くご理解いただくことを目的 としています。

当社ホームページでPDF版をご覧いただけるほか、 冊子版をご希望の方は、「エコほっとライン」より無 料でご請求いただけます。

http://www.ecohotline.com/products/detail. php?product_id=2549





〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー TEL 03-6895-6400